

にはげ落ち、狭部には傷がみられた。またこの魚の1~2m離れたところでマダラエソを観察した。

放流後13日目には、放流魚は側線上ではまったく観察されなかった(図10, 11)。

c) 再捕

放流に先立って、放流海域で主に漁業を営んでいる2つの漁業協同組合(羽地、今帰仁漁協)

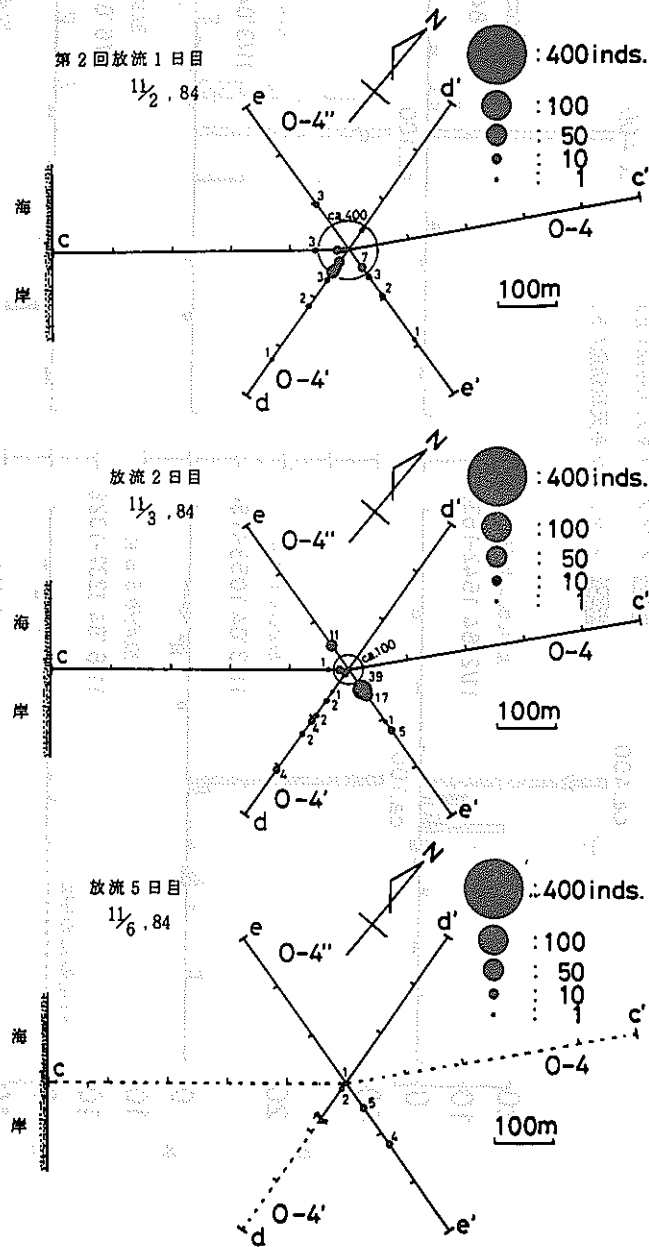


図12 第2回目人工種苗放流後の放流魚の側線上の水平分布 図中の数字は個体数